

## 令和6年度 都城市立西中学校 第【 5 】回学校運営協議会報告書

日 時	令和7年 2月13日（木） 18時30分～19時30分	
場 所	西中学校 会議室	
参 加 者	委 員	赤塚隆志、柏木健一郎、坂元三郎、濱畠愛、橋口博和
	事務局	三浦徹也、衛藤卓哉、岩切隆宏
	その他	
会 次 第	1 開会のことば 2 都城市民憲章朗読 3 学校運営協議会会長あいさつ 4 学校長あいさつ 5 学校の現状	6 学校運営協議会委員の評価と考察 7 意見交換 8 次年度の取組について 9 閉会のことば
協議内容	<p>1 学校の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2学期、心配な状況もあったが、現在は全体的には落ち着いた学校生活を過ごせている。</li> <li>○ 不登校、支援を必要とする生徒への対応のあり方が、西中学校の大きな課題である。</li> <li>○ 1/31(金)の立志式では、響座（太鼓）の岩切邦光氏を迎へ、記念講演を行った。2年生が立志の誓いを立派に発表した。（会の中で話題にできなかつたが、報告）</li> <li>○ 今年度の締めくくりの時期となり、次年度に向けてしっかりとつなぎをしたい。</li> </ul> <p>2 学校運営協議会委員の評価と考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不登校～多様な考え方があるが、SCやSSWなどの関係機関との連携を図り、活用し、減少させていくことを期待する。</li> <li>○ 西中生のあいさつは、他校と比べ大変素晴らしい。</li> <li>○ 校則の見直し～生徒に主体性を持たせる見直しの取組を行っていることは素晴らしい、評価できる。ぜひ、しっかりと進めてほしい。</li> <li>○ 学力向上が課題である。家庭学習もこれまでのような画一的な内容を強制されてやるのではなく、キャリア教育、進路学習を通して意識を高め、自分にあった個別最適な内容で学習する必要がある。家庭・生徒への啓発をしっかりと行い、意識改革をもっと進めていく必要がある。その結果として基礎学力をしっかりと身に付けさせることが大事である。</li> <li>○ 今年度は、横市地区の諸行事等にボランティアとしての参加だけでなく、スタッフとして多くの生徒が参画し、活動の姿勢も良かった。【横市まちづくり協議会】</li> </ul> <p>3 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校の働き方改革（部活動改革・地域人材活用）について <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の見通しについて【地域移行に向けて】</li> <li>・現状：複数部顧問制、外部指導者を一部導入、土日の後援会等の見守りによる活動</li> </ul> </li> <li>※ 今後の手立て <ul style="list-style-type: none"> <li>・全部活動への外部指導者配置</li> <li>・部活動支援サポーター導入（保護者ボランティア）</li> <li>・スマート化（練習試合・大会等への参加数の精査）</li> </ul> </li> </ul>	
その 他	○ 学校の働き方改革（部活動改革）、不登校生の対応等については、市の施策などに受け身になるのではなく、アドバイスをいただきながら西中学校としてできる努力をしていきたい。	